

手賀沼流域

協働調査結果(平成30年度)

河川

手賀沼流域の各河川調査地点で、平成30年度に実施した春季・冬季のパックテストによるCOD濃度調査結果の平均値をまとめました。

【参加団体】

我孫子市消費者の会、我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会、NPO法人アルパトロソットクラブ、印西市環境推進市民会議、美しい手賀沼を愛する市民の連合会、江戸川大学、大津川をきれいにする会、大堀川の水辺をきれいにする会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、柏イオンテアーズクラブ、柏市環境保全協議会(パウダーテック)、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、神崎川を守るしろいハム溜の会、白井の自然を考える会、白井社会ボランティアの会、七次台中学校、ふれあい手賀沼の会
※五十音順
柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:環境生活部水質保全課)

【大堀川流域】

COD濃度の流域平均値は8.1mg/Lであった。他流域よりも市街地の割合が大きく、上流部の一部及び合流する樋管の地点で高い値を示した。No.9より下流の本流ではNo.24を除いて6.0mg/L未満の低い平均値であった。

注：大堀川における調査地点No.の枠内が赤塗り白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等に観測した値を示す。

No.8 宮前

No.12 天神前樋管

No.13 西前田樋管

No.15 篠塚樋管

No.20 地金堀合流後

No.28 水神橋

【湖北集水路流域】

COD濃度の流域平均値は8.8mg/Lであった。各調査地点のうち、No.35が春季に12mg/Lと高い値であった。

No.14 高田緑地前

No.18 地金堀合流前

No.34 都部新田

No.29 花輪橋

【大津川流域】

COD濃度の流域平均値は5.9mg/Lであった。各調査地点のうち、No.2で春季に10mg/L、No.6で春季に15mg/L、冬季に14mg/Lと高い値であった。

【金山落流域】

COD濃度の流域平均値は6.0mg/Lであった。各調査地点のうち、No.25が春季に13mg/Lと高い値であった。

【亀成川流域】

COD濃度の流域平均値は3.5mg/Lであった。調査開始以降、他流域よりもCOD濃度の平均値が低い傾向にある。



No.9 導水注入前



No.10 導水注入後



No.21 駒木台108-4地先



No.22 美田653-50地先



No.23 美田69-353地先



No.4 高柳馬渡橋付近



No.5 高柳かうち橋付近



No.1 増尾橋



No.2 大宮橋



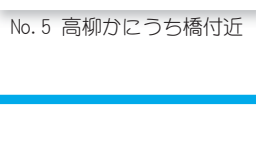
No.3 あしかわ橋



No.6 栗野串崎新田



No.25 大松



No.26 富塚無名橋



No.27 名内無名橋

もっと知りたい人は…

手賀沼水環境保全協議会

<http://www.tesuikyoo.jp/>

凡例

- COD (mg/L) -
- 0以上～2未満
- 2以上～4未満
- 4以上～6未満
- 6以上～8未満
- 8以上～10未満
- 10以上～12未満
- 12以上
- 欠測地点
- 手賀沼流域界
- 手賀沼流域水系
- 市町村界
- 下水道整備地域(～H26.3)
- 水田
- 北千葉導水路
- 北千葉導水注水地点

CODは、水中の有機物を酸化するために必要な酸素量で、値が大きいくほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。
CODの汚濁負荷源は主に生活排水や事業場排水、市街地の路面等です。また、植物プランクトンが沼で増えるとCOD値を高めます。近年の削減対策により、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していません。